

令和7年度 第3回清瀬市男女平等推進委員会 議事録

日 時：令和7年12月26日（金） 午前10時～正午

会 場：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：橋本委員長 佐藤副委員長 前川委員 豊田委員 田村委員 芦澤委員
鈴木委員 高橋委員 渡辺委員

欠席者 福田委員

事務局：地域振興部男女共同参画センター

◎⇒委員からの発言

議題

1 男女平等推進プラン進捗状況調査評価について

事務局より、事業評価の現状と課題について説明を行った。

◎委員からは、担当課による評価と委員会の評価の整合性について意見が出された。特に、委員からのコメントの反映方法や、事業評価に男女別視点やデータが十分に盛り込まれていない点について指摘あり。

◎事業評価において、担当課が自らジェンダーの視点から評価を行っているかどうかの確認が必要であるとの意見あり。

◎事業の名称が総合計画における上位施策との関連が不明瞭であるとの意見が出された。
特に、数字のみの表記では市民にとって分かりづらいとの指摘があり、具体的な施策名を明記する必要性が議論された。

事務局に対し、市民が事業内容をより理解できるよう、総合計画上の表記方法の改善を検討することが求められた。

◎各種審議会等における女性参画の促進とジェンダーバイアス解消について
各種審議会や委員会における委員選定において、無意識のジェンダーバイアスが存在する可能性について議論された。

◎特定の分野（例：図書館関連）では女性利用者が多いと推測されるが、委員に女性が少ない現状が指摘され、より意識的な女性参画の促進が必要であるとの意見あり。

◎現状の委員構成を見直し、男女比率のバランスを考慮した人選を行うことの重要性があるとの意見あり。

2 清瀬市男女平等推進プランの中間見直しについて

男女平等推進プランについて、2027 年度または 2028 年度を目標とした中間見直しの必要性が確認された。

具体的な検討内容やスケジュールについて、今後事務局で整理し、次回の委員会で提示されることとなった。今後の委員会の進行として、各委員からのコメントを事前に集約し、議論を深める方向で進めることが確認された。

次年度以降の事業評価において、男女別視点や男女共同参画の視点をより積極的に取り入れていく方針を確認した。

3 今後のスケジュールについて

評価総論案については、1 月 16 日までに委員長が作成予定である。各課の今後の事業評価において、男女共同参画の視点を取り入れる具体的な方法を検討する。

次回の日程は、決定次第委員に連絡予定となる。

以上